

平成27年度学校経営方針

【学校教育目標】

生きて働く底力を持ち、新しい時代を心豊かに生きる子どもの育成

めざす児童像

進んで学び、よく考える子

思いやりを持ち、表現できる子

健康で、たくましい子

「総合的な学力」の育成

- ①チーム力を生かした学力向上
- ②言語活動の充実、「アクティブ・ラーニング」の充実による授業改善
- ③学習の指導と評価の充実
- ④家庭学習習慣や読書習慣の確立

豊かな心の育成

- ①豊かな人権感覚を育てる教育の推進
- ②「道徳の時間」を要とした道徳教育の充実

健やかな体の育成

- ①「体力向上プラン」に基づく取組の充実
- ②食育・保健指導の推進

重点取組

○学力向上のための組織的な校内体制を確立し、「学びの診断」「全国学力・学習状況調査」の結果分析と、「学力向上プラン」に基づく取組の成果や課題を的確に検証し、各教科において問題解決学習に取り組む。

○3年生から6年生の算数において、習熟度別等少人数指導を効果的に実施する。

○「わくわくタイム」を充実し、「基礎学力の定着」を図る。

○あらゆる教育活動において言語活動の場を計画的・効果的に設定し、言語に対する関心や理解を深め、言語活動に関する能力を育成できる授業づくりを行う。特に、各教科においては、「書く」ことに重点を置き取り組む。

○デジタルテレビとタブレット端末を積極的に活用し、「わかる授業づくり」に取り組む。

○生活科や総合的な学習の時間（チャレンジタイム）等において、「人権総合学習」を中心に、生きる力を育成する。

○学習指導要領に示された目標に準拠した評価について、評価場面の設定や評価方法を工夫し、きめ細かい学習指導と子ども一人ひとりの学習内容の定着を図る。

○「7つやくそくデー」や「家庭学習の手引き」を基に、家庭と連携した取り組みを通し、生活習慣や学習習慣を確立する。

○学校図書館の環境を整備し、「読書ノート」を活用し、子どもが読書に親しむよう「朝の読書活動」、「少林寺小読書の日（毎月23日）」を設定し、読書活動の充実を図る。また、100冊を読んだ児童は、「少林寺小読書博士」として認定する。

重点取組

○子ども一人ひとりが人権尊重の精神について理解を深め、態度や行動が身につくよう、「人権教育年間教育」に基づき、あらゆる教育活動を通して、人権教育を推進し、一人ひとりの人権感覚の育成に努める。

○子どもの自己肯定感や自分を大切にする自尊感情を育むと共に、人との温かい触れ合いを通して、人への思いやりや人と繋がる力を育成し、「いじめをしない・させない・許さない」心情を育てる。

○道徳の時間を要として、学校の教育活動全体を通じて、道徳教育を適切に推進する。また、道徳資料集「未来をひらく」・「人権教育教材・資料」（大阪府版）（堺版）を道徳の時間に位置付け、積極的に活用するとともに、「私たちの道徳（「心のノート」改訂版）」についても活用する。

○民族学級やトラチタイム、在日外国人教育などの学習を通して、在日の子どもの民族の誇りと日本人の子どもの正しい理解を深め、「ちがいを豊かに」高める実践力を育成する。

○人とかかわりあいを実感する「あいさつ運動」、豊かな心をはぐくむ「朝の読書活動」もてなしの心を学ぶ「茶の湯体験」の堺・スタンダードの取組を深化・充実する。

重点取組

○「小学校体育指導の手引」「体力向上プラン」等を活用し、体力向上に繋がる授業の工夫・改善を図る。

○子どもの体力の実態に応じて、重点的に取り組む内容を定め、体力・運動能力の向上を図る。

○食に関する正しい知識と望ましい食習慣、基本的な生活習慣の指導等を身につけるために、食育・保健指導を推進する。

【秩序と活気のある学びの場づくり】

- ①学校の基本方針に基づくいじめの防止
- ②規範意識の醸成と静謐な教育環境づくり
- ③チーム力を生かした不登校等の防止

“ゆめ”の実現に向けて「学校力」を高める

【育ちと学びが連続する「つながる教育」の推進】

- ①小中一貫した指導体制の確立
- ②幼時期から小学校への円滑な接続
- ③幼・小・中の効果的な連携

重点取組

○9年間を見通した一貫性のある学習指導・生徒指導を組織的に行い、総合的な学力向上の育成に努める。（小中一貫教育推進事業）

○陵西中学校区の学校間交流を進め、児童・生徒・教職員・保護者の交流を深めると共に、児童生徒に健全育成と人権尊重の輪を広げ、陵西中学校への進学率を高める。（コミュニティ-陵西・健全育成協議会）

○第一幼稚園と連携した教育活動を進め、園児と児童との交流を深める。

【学校・家庭・地域の協働による「ひろがる教育」の推進】

- ①保護者や地域住民の参画・評価による学校改善
- ②地域の拠点となる学校づくりと区行政との連携
- ③堺を知り、堺を学ぶ教育の推進

重点取組

○学校関係者評価を中心に、学校の取組や課題を共有し、学校への支援、評価を行うことで、学校の教育活動の改善と活性化を行う。

○地域の行事等への参画や協力を通して、地域への貢献に努める。

○「子ども堺学」等を活用した学習活動を進め、子どものコミュニケーション能力や社会的実践力を育成する。

【自立をはぐくむ特別支援教育の推進】

- ①専門性の向上と的確な実態把握に基づく指導・支援の充実
- ②校内体制の確立と就学相談・支援の充実
- ③ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習環境・授業づくり

重点取組

○障がいのある子どもへの理解を深め、障害の特性に応じた適切な指導及び支援を行う。

○特別支援教育に関する専門性及び指導力の向上を図るための校内研修を充実する。

○授業のユニバーサルデザイン化に取り組む。

【安全管理・危機管理体制の確立】

- ①学校における事故の未然防止
- ②安全教育と防災教育の充実
- ③災害発生を想定した危機管理体制の構築
- ④個人情報適切な管理

【信頼される教師の育成】（「情熱」「指導力」「人間力」）→《チーム力》・《教師力》

- ★教師力を高める校内研修の充実（組織的・継続的な校内研修体制の構築、経験の少ない教職員の育成）
 - ★人権に対する深い認識と実践力の育成（子ども一人ひとりの人権を尊重できる人権感覚・適切な支援ができる実践力）
 - ★体罰の根絶（教師間のコミュニケーション力の向上・一人ひとりの子どもを生かす授業改善・力に頼らない指導）
 - ★教職員としての自覚の高揚と責務の遂行（法規・法令の順守・人権意識を高める職場環境づくり・自覚の効用と責務の遂行）
- 【家庭・地域とともにめざすよりよい学校づくり】→《連携力》